

梅雨時期の交通安全



ジメジメと雨が降り続く梅雨の時期になると、視界悪化による「追突事故」や「歩行者を跳ねる事故」、水たまりでブレーキ制御不能になる「スリップ事故」などの交通事故が頻発します。

それぞれの立場で交通事故を防止しましょう。



ドライバーの皆さんへ!

○ 降雨による自動車運転の影響

- ① 曇天で薄暗く雨が降るとさらに視界が悪化します。
- ② 雨音で周囲の音がかき消され車外音が遮断されます。
- ③ 水たまりによりタイヤが滑りやすくなります。



○ 運転前の車両点検整備

- ① 視界を確保するため、劣化したワイパーは交換し、油膜を取り、撥水施工をしましょう。
- ② ハイドロブレーキング現象はタイヤ溝の摩耗、空気圧の不足などによって起こります。タイヤの溝と空気圧を点検整備しましょう。

○ 運転上の注意

- ① スピードは控えめに、車間距離は長めに空けましょう。
- ② 水たまりにハンドルを取られないようにハンドルはしっかり持ちましょう。
- ③ ブレーキは早めに踏んでランプの点灯により後続車にこちらの意図を知らせましょう。
- ④ 車内の音楽は控えめにして車外の音をキャッチしやすくしましょう。
- ⑤ 歩行者のそばを通行するときは、泥や水をはねないように注意しましょう。



自転車利用者の皆さんへ!

- 傘さし運転は危険です。雨合羽を着用しましょう。
- 夜間はライトを点灯し、反射材を活用しましょう。



歩行者の皆さんへ!

雨降りは、雨具で視界が遮られ、「周囲がよく見えない」「雨音でエンジン音が聞こえにくい」ため周囲への注意が疎かになります。

- 道路を横断するときは、左右の安全をしっかりと確認しましょう。
- 無理な道路横断はせず、横断歩道を渡りましょう。
- 夜の外出は明るい服装で反射材を身に付けましょう。

